

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4030	(H.22)No.	4030
-----------	------	-----------	------

事務事業名 都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業			
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	維持管理室	稲住和久	63-7681
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 22 年度 ~ 平成 25 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	1	魅力的な都市環境づくり
	施策	4	水と緑のまちづくり
	小施策	1	緑豊かなまちづくり
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	412201
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業
項	都市計画費	(小事業名)
目	公園管理費	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業

3. 事務事業の概要

事業概要	
都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業を活用して平成22年度から4ヵ年をかけて計画的に都市公園施設(71箇所)の老朽化した遊具の更新を実施します。	

めざす効果(事業目的)
市民が自由に憩いの場として利用できるよう、安全な都市公園の形成に努めます。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費] 豊後町公園・桔梗が丘1号公園・桔梗が丘2号公園・桔梗が丘4号公園・桔梗が丘9号公園・前山公園・東山公園の遊具の更新(滑り台、シーソー、ジャングルジム、複合遊具等)	[事業内容(事業量)・事業費] 桔梗が丘8号公園・桔梗が丘11号公園・桔梗が丘12号公園・桔梗が丘13号公園・桔梗が丘15号公園・桔梗が丘16号公園・桔梗が丘17号公園・桔梗が丘18号公園・桔梗が丘南1号公園・桔梗が丘南2号公園・桔梗が丘西1号公園・富貴ヶ丘1号公園・富貴ヶ丘3号公園・美旗1号公園・美旗2号公園・美旗3号公園・美旗4号公園・美旗5号公園・南西原2号公園・南西原4号公園・緑ヶ丘1号公園・緑ヶ丘3号公園・さつき台1号公園・さつき台2号公園・さつき台3号公園・さつき台4号公園の遊具の更新(滑り台、シーソー、ジャングルジム、複合遊具等)	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	
直接事業費	32,246千円	30,000千円	75,000千円	74,500千円		
財源内訳(千円)						
国庫支出金	16,000	15,000	37,500	37,250		
県支出金						
地方債	16,000	15,000	37,500	37,250		
その他()						
一般財源	(0) 246	0	0	0	0	0
人工数						
職員	0.23人	0.13人	0.13人	0.13人		
臨時職員等						
概算人件費	(0千円) 1,679千円	949千円	949千円	949千円	0千円	
+ 総事業費	(0千円) 33,925千円	30,949千円	75,949千円	75,449千円	0千円	

概算人件費は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	公園	-	-	7	33	49
	実績		-	-	7		
成果指標	目標	%	-	-	-	-	74.0
	実績		70.8	72.0	73.9		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	引き続き、安全な公園施設の形成に努めます。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
市民が自由に憩いの場・交流の場として利用できるよう、安心して安全な公園が必要。	屋外での遊びの場が少ない状況の中で、身近な公園利用が望まれる。

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 補助制度の活用について研究していく。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	5030	(H.22)No.	5030
-----------	------	-----------	------

事務事業名		河川ダム対策費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
都市整備部		都市整備政策室		松本 壽次	63-7675
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	1	魅力的な都市環境づくり
	施策	4	水と緑のまちづくり
	小施策	2	水とふれあうまちづくり
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	401001
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	河川ダム対策費	
項	河川費	(小事業名)	
目	河川ダム対策費	河川ダム対策費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
・ダム周辺整備施設維持管理業務 ・木津川上流直轄改修促進期成同盟会を始めとする各種同盟会や協議会への参画	

めざす効果(事業目的)
・ダム周辺施設の適切な維持管理を行い、市民の憩いの場としての利活用を促進する。 ・木津川上流直轄改修促進期成同盟会を始めとする各種同盟会や協議会へ参画し、情報収集を行うとともに、各種団体を通じて、要望、陳情活動を行い、事業の推進に努める。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
	・ダム周辺整備施設維持管理業務 2,177千円 ・木津川上流直轄改修促進期成同盟会等負担金他 468千円	・ダム周辺整備施設維持管理業務 2,340千円 ・木津川上流直轄改修促進期成同盟会等負担金他 683千円	補助金・交付金	その他 ()	
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
			・ダム周辺整備施設維持管理業務 2,340千円 ・木津川上流直轄改修促進期成同盟会等負担金他 684千円	・ダム周辺整備施設維持管理業務 2,340千円 ・木津川上流直轄改修促進期成同盟会等負担金他 684千円	・ダム周辺整備施設維持管理業務 2,340千円 ・木津川上流直轄改修促進期成同盟会等負担金他 684千円
直接事業費	2,645千円	3,023千円	3,023千円	3,023千円	3,023千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源	(0) 2,645	3,023	3,023	3,023	3,023
人工数					
職員	0.23人	0.23人	0.23人	0.23人	0.23人
臨時職員等	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
概算人件費	(0千円) 1,849千円	1,849千円	1,849千円	1,849千円	1,849千円
+ 総事業費	(0千円) 4,494千円	4,872千円	4,872千円	4,872千円	4,872千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	名張川河川改修事業延長 (国土交通省直轄事業)	-	-	-	-	-
	実績	[平成20年度を現状値とした累計]	246.3	246.3	1,064.4		
活動指標	目標	名張川河川改修事業延長 (三重県施工事業)					
	実績	[平成20年度を現状値とした累計]	30.4	651.8	851.8		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	名張川の河川改修について引き続き要望していく。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
国・県の動向を十分把握する必要がある。	

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ)	協働等の主な相手先について
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性)	協働等の今後の取組について 市が直接実施
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 関係市町村と連携を図りながら事業推進に努める。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	5034	(H.22)No.	5034
-----------	------	-----------	------

事務事業名		公園管理費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
都市整備部		維持管理室		山岡 寛明	63-2151
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	1	魅力的な都市環境づくり
	施策	4	水と緑のまちづくり
	小施策	1	緑豊かなまちづくり
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	412001
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	公園管理費	
項	都市計画費	(小事業名)	
目	公園管理費	公園管理費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>・市民が憩える都市公園165箇所及び住宅団地内の緑地の維持管理を行います。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>・住民が、美しい自然に包まれ、憩いと潤いのある、健康に暮らしていける空間づくりをめざします。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)		平成23年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		市が直接実施 業務委託(全部・一部)により実施 指定管理 補助金・交付金 その他 ()		
主な事業の実績・計画	平成21年度繰越 ・公園維持補修等工事費 5,000千円 平成22年度 ・公園維持管理作業等委託料 48,286千円 ・公園維持補修等工事費 3,053千円 ・需用費、役務費、その他 5,682千円		・公園維持管理作業等委託料 49,000千円 ・公園維持補修等工事費 8,000千円 ・需用費、役務費、その他 6,383千円		平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
					・公園維持管理作業等委託料 ・公園維持補修等工事費等	・公園維持管理作業等委託料 ・公園維持補修等工事費等	・公園維持管理作業等委託料 ・公園維持補修等工事費等
直接事業費	(4,999千円)	57,020千円	63,383千円	70,000千円	75,000千円	80,000千円	
財源内訳(千円)							
国庫支出金	(4,999)						
県支出金							
地方債							
その他()							
一般財源	(0)	57,020	63,383	70,000	75,000	80,000	
人工数							
職員	(0.06人)	0.52人	0.60人	0.60人	0.60人	0.60人	
臨時職員等	(0.02人)	0.23人	0.25人	0.25人	0.25人	0.25人	
概算人件費	(472千円)	4,187千円	4,805千円	4,805千円	4,805千円	4,805千円	
+ 総事業費	(5,471千円)	61,207千円	68,188千円	74,805千円	79,805千円	84,805千円	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24	
活動指標	目標	地域づくり組織が維持管理をしている割合	%		80.4	80.9	81.4	82.0
	実績			79.9	87.8	87.9		
成果指標	目標	水辺や緑とのふれあいに満足している市民の割合	%		69.4	72.8	73.4	74.0
	実績			70.8	72.0	73.9		
	目標							
	実績							
考察及び今後の対応方針	地域等との連携により引き続き適切な維持管理に努める。							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
・市民が自由に憩いの場、交流の場として利用できるように、地域の特性をいかした公園づくりが必要。	・草刈り、樹木の剪定等についての要望や遊具等の補修が求められている。

7. 担当室による点検【事務事業をより良く(最適化)するために】

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践している	協働等の主な相手先について 地域づくり組織等
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 委託[業務量の50%以上相当]	協働等の今後の取組について 拡大推進
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか できる	利用者の増加を図るため、補助事業を活用し遊具等の更新を実施する。
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある	国、県の動向を見据えながら、新規の補助事業等を模索する。
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある	地域づくり組織等との連携を図る。

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 地域等への委託の継続、推進を図る。	